

縁日ごっこ楽しかった～♪

縁日ごっこでは、たくさんの準備と店番、片付けのご協力ありがとうございました。保護者の方のお力で、子どもたちは存分に楽しんでいました。お家の方と一緒に遊ぶことも楽しく、「スーパーボールしたよ」「電車楽しかった」「お土産もいっぱいもらったよ」と、話が止まらなくなるほど最高の一日になったようです。保護者の方も、お子さんの遊んでいる姿をにっこりと見守ったり、一緒に遊んだり、お話をゆっくり受け止めたりして、ゆっくりと温かく関わってくださる様子が、ほっこりと嬉しかったです。



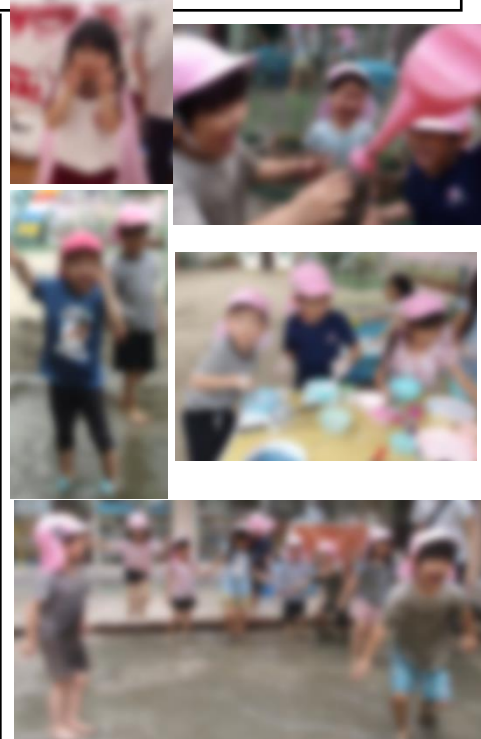
せんたくかあちゃん♪

絵本『せんたくかあちゃん』を読み、泡をつかって遊びました。石鹸で泡の感触が面白く、繰り返し触ったりすくったりすることを楽しみました。手のひらいっぱいにあふれる泡に「わ～ふわふわ♡」と感動！何度も夢中で触っていました。絵本を思い出してカラー帽子を洗って絞って干して、洗濯もしました。「ママみたい♪」「こうやってやるんだよ」と、普段の生活を思い出していました。泡だて器やボウルも使って自分の手でさらにふわふわの泡もつくりました。「わあ、おいしそう♡」とつくった泡をコップに移したり、料理に見立てたり、色水に混ぜたり、遊び方は無限大！たくさん触って、感動して、やってみて、夢中になって泡で遊ぶことを楽しみました。

ふわふわ・どろどろ・ひんやり…たくさんの感触♡

泥んこや泡、色水、小麦粉粘土や寒天など、様々な感触を楽しみました。子どもたちは遊びながら、「きゃー冷たい！」「色が変わった！」などと、目を輝かせながら夢中で遊んでいました。泥んこはお風呂、小麦粉のパン、寒天のゼリーなど、遊びながらどんどんイメージも出てきてさらに楽しくなるのが子どもたちのすごいところ！道具も使って、「こうしたらどうなるかな？」「〇〇くんみたいにしたい」と、工夫したり試したりもしながら遊んでいます。

感触を味わいながら夢中になって遊ぶ中で、「やってみたい」という気持ち、考える力や工夫する力、友達と関わる力などが育っています。はじめは汚れる度に「泥んこ、とれるかな？」と心配していた子どもも、今では自ら泥の中にダイブしたり、泡を全身につけたりするほど、汚れることへの抵抗がなくなり、むしろ汚れを楽しむようになりました。全身びしょ濡れになって遊んで洗って綺麗になり、また次の日全力で汚れて遊ぶ経験を積み重ね、「汚れても洗ったら元通りになる」ことが、「失敗しても何度でもやり直せる、大丈夫」と自信になり、普段から新しい遊びにも挑戦したり、自ら遊び出したりする姿も増えました。思いっきり汚れて遊ぶことが、失敗を恐れず様々なことを、自分からやってみようとする力にもつながっています。



カブトムシが生まれたよ

幼虫から育てていたカブトムシが生まれました！「かっこいい～」とカブトムシに興味津々で、「ゼリー食べようとしてる」「まだ出てこないね。寝てるのかな」と、毎日様子を見ています。アオムシやダンゴムシなど身近な虫に親しんできた子どもたちにとってカブトムシもお手の物で、全く躊躇せずすぐに触り、持ち上げてみていました。虫たちとはもうすっかり友達！大切に、優しくたくさん関わって親しんでいます。

